飯田市
発行所 飯田市竜丘公民館
編集人 竜丘公民館編集部
印刷所 信州印刷KK
松本市巾上町353
TEL（代）5686

和洋酒類食糧品
吉 伊原酒店
T 龍丘四七
有線五の三〇

お知らせ支部より

◆農業委員会、委員選挙人名簿縦覧を二十日から十五日間八時半より五時まで支所

◆今月の税金は市民税第四期分と保険税

モデル地区に指定されて

おかいこ―ちゝうし

養蚕、酪農安定対策事業

この主たる目的は、本県の農業経営の基幹として永年農家経済を支えて来た養蚕と、戦後一大発展して来た酪農が、諸情勢に依り著るしく不安定になって来た。そこで県ではこの行詰まりを打開する為に、養蚕と畜産を両立させ、特に酪農とのむすびつきが経営の合理化の上で最も容易な組合せであるから、これをより以上に、有機的に結合させて養蚕と酪農経営の安定を計る為に三十三年度事業として、養蚕酪農安定対策事業を計画したものである。

そこでどの様にすれば養蚕と酪農を安定させるかであるが、これはいうまでもなく生産費の切下げをどの様にするかに依って決まるのではなかろうか。

養蚕に於いては、反当収繭量の増大（現在の三〇%）と飼育管理の改善であり、酪農については飼料自給率の向上（自給率八〇%）以外にはないのではないか。

反収一二〇Kg以下の低能率桑園については改植により能率の向上を計るべきであるが、立地条件によっては不可能な地帯があるのでこれらを対象として抜根又は広畦寄畦にし牧草の間作、専用飼料圃への転換により自給飼料の確保をすることが養蚕及び酪農の安定の根幹になる。

然し、過去に於ける間作或いは専用飼料圃にしても一年生牧草が、主である為にその効果はあまり期待出来なかった。栽培技術にも依るが永年多収の牧草の導入こそ酪農の前途を打開し安定させる唯一の方法ではないだろうか。ここに此の事業を要約すると。

桑園面積二五アール以上を有する酪農家（育成は除く）を対象とし一〇アールの桑園の抜根により五アールを専用飼料圃に、残りを寄畦又は広畦とし飼料の間作に転用しなくてはならない。然しこの場合反収一五〇Kg以上もとれる桑園については一考を要する。

飼料圃及び間作にはすべて永年牧草を播種するものとし、地力増進のために石灰及び燐酸肥料の施用を行わなくてはならないが、乳牛一頭当り一〇アールの飼料圃を設置しなくてはならないのでこれがため間作面積を増大するか、普通畑の利用をする必要が生じてくる訳です。

その他これらの事業の推進を図るために七十万円が計上（県と市で半額づつ）されており、抜根機、サイレージカッター、ハンマーミール、生草圧搾機、簡易火力乾草機等の設置をなし、冬期飼料の確保につとめるよう施設が完備される事になっており、牧草等の種子も無償配布されることになっている。これらはいづれも三十三年度末の本年の三月末を目標に事業を完了するように決められている。

これからの農業経営、特に斜陽産業の養蚕を中心にして来た当地方では、お互が如何にして健全なる経営をと考えている時に、下伊那地方に唯一ヶ町の設置のこの事業のモデル地区に竜丘が指定されたことは有意義なことである。これが竜丘、そして当地方の産業の一大指針となる様、関係者の一層の努力を望む。

どう発展する 龍丘地区の課題

緑ケ丘中学はいつ開校されるか

昭和三三年分の工事がこの三月で完成し一部の生徒を入れ今年から開校する計画が実現するか、もし入るとするとどこの部が入るか、また全校舎の完成を待つかである

中学校舎をあとどうするか

中学統合後の校舎の利用をどうするか、地区民の要望として意見をまとめる必要が生じてくる。

一貫水路の着工なるか

竜丘産業の発展のポイントとなる一貫水路は今年度から県工事として当地区地籍の開設が予定されているが、どう云う形で始まるか、地元負担金等が問題となる。

新水道はできるか

現存水利権の問題が最終的に解決していない。三四年の予算によって具体化されるが、独立採算の事業であるため、全戸の加入が望ましくなって来る。そこでこの問題をどうするかが開設の焦点となってくる。

新農村と養蚕

新農村建設計画は本年に入り長野原地籍の農道開設の工事に着手し今までに行なわれた交換分合に併せて軌道に乗って来たが他地籍の（桐林）計画をどう具体化するか養蚕酪農安定モデル地区の指定を受け、苦境に立った養蚕、酪農を有機的に結び付け安定した経営を営めるための指針を打ち立てる上に於いて飯田下伊那の農民は大きな期待を持つものである。

不況と農協

養蚕を中心とする竜丘の農業が、方向をかえるか、またこの波を如何に乗り越すか、農民の組織である農協を中心に立ち上り、総合的な産業計画が立たるか、否か。

天龍社時又工場の利用

いつも目ざわりになる時又工場のあとの利用を地区民の努力によってきめ、早く地区発展のために解決するごきがでるか。

多くの選挙

今年は参議院を始め多くの地方選挙がある、公明にかつ自分達の代表を送り出すためのうごき等。課題は多い。

各種団体 ことしの役員

青年会

会長下平衛、副会長林隆治、久保田幸子、総務部長中平悦雄、副下平錦子、文化部長下平将之、副下平裕子、社会部長中島徳治、副下平紀代、厚生部長原功、副下平礼子、産業部長下平文一、副高島よし、編集部長塩沢義男、副北沢範子、図書部長金子徳一、副林清枝、支会長駄科塩沢忠志、長野原小林泉、時又斉藤義登、桐林岡島満行、上川路塚平利久郎、市連青執行委員牧島正晃、同代議員小笠原昭市

公民館

館長橋本玄進、主事沖田一雄、社会部長下平才介、副牧島秋雄、産業部長中平博、副未定、体育部長岡村市郎、副未定、視聴覚部長池村恒吉、副田中国男、編集部長下平恵敏、副原佳明、分館長、駄科木下純夫、長野原小林誠、時又今村尚司、上川路塚平正博、桐林下平孝之助

消防団第七分団（龍丘）

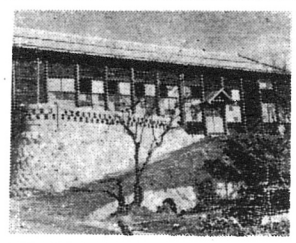
分団長下平欽一、副分団長森山昇警護部長中田美稔、消防部長井口正巳、庶務班長宮沢薫、ラッパ班長下平唯男、救護班長藤田始、非常線班長久保田文治、原祺三、誘導班長木下彦男、池田和吉、塩沢竹雄、予防班長小室和巳、下平稔塩沢利郎、機関班長木下幹夫、今村保郎、牧内啓、塩沢資吉、今村昭三、水利班長吉川昭三、原田典彦、代田勇

壮年団

団長伊東保直、副下平芳雄、委員下平翠、下平保治、大平馨、伊藤熊谷清美、小笠原悦夫、塩沢吉郎沖田房三、今村文四郎、牧内一雄桐生寿郎、林弥一郎

竣工した桐林公民館

桐林区では昨年十一月時又工場の講堂を買受け公民館として旧公民館（保育園）前へ建築を急いでいたが十二月二十日一部工事を残して完成した。建坪二三三平方M、総工費約九十万円。



普及員かわる

竜丘駐在の清水隆志氏はこの程下久堅へ転勤し、後任として下伊那郡上村より宮川正二氏が一月二十日就任した。

妙な挨拶

一月であろうと、十二月であろうと来る日来る日が毎日新しい日であって、正月になったからって別に何ともないわけであるが、それでも年が改まるとすべて事象が改新した様な気持になる。「今年こそは」、などと元日の朝位は一応考えて見たり客年を反省して見たりして誰でも「相変りません」とか何とか妙な挨拶する。不思議なものだ

竜丘の公民館は、公民館らしい施設は何一つ持っていないけれども、十余年来その活動は実に活発で、目には見えない大きな成果を挙げて来たと信じています。歴代の館長以下関係の諸君に心から敬意と感謝を捧げ度いと思う。唯、最近一、二年、極めてその活動が低調なのは館長の無能によるもので誠に申訳なく慙愧に堪えないわけで、深くおわびする外ありません。

今年は社会教育法が改正だか改悪だか議論は色々有るがともかく変るらしい指導主事が設置されたり、青、婦人会等へ公費の補助を出しても差支うかえない様になるかも知れない。法がどの様に変っても私はこう考えている。

社会教育と言うのは教育者と被教育者の別がなく、活動の場所も限定されないものである。十何年も前に竜丘公民館が発足した当時、役者も見物人もない芝居と言う様な言い方でそんな事を館報に書いた事を覚えているが、今もそう思っている。だから教育活動を展開するのは公民館でなくて一般市民であって公民館は只その世話をし手段方法を講ずるだけである。市民の皆様が忌憚なく指示、要求を公民館に寄せられん事を期待します。それでないと無能な私は何もしないかも知れません。

交代されました旧部員の皆様御苦労さまでした。新部員の皆様、何分よろしくお願いしますあけましておめでとう

相変りません

妙な挨拶になった。

（公民館長 橋本玄進）

短信

座光寺発

上野住宅十一棟できる。

先に上野部落へ新町として住宅が十三棟できあがってすでに生活に入っていたわけですが、本年度分十一棟（二十一世帯）が九分通りできあがり入居者も確定し、あとは完成を待つばかりで、春早くには炊煙があがるだろう。全部で二十四棟「上野新町」の名にふさわしくにぎやかになるだろう

有線放送設置にきまる。

有線推進委員会が去る三日に開かれ、全戸数六五〇戸で四〇〇戸の確定申込みがあった。

山本発

山本中学校は十二月八日同校講堂で校歌の発表会を行なった同校は今まで校歌がなく昨年頃から独自の校歌を熟望する声が高まり本年五月PTA総会で校歌を作ることが決議され制定されることになったものである。

作詞は北原白秋の門下で薮田義雄氏に依頼され、作曲は東京芸大作曲科教授松本民之助氏に上って出来上った。発表会には薮田、松本両氏も参列挨拶のあと作曲者自ら全校生徒の指揮をとり新しい校歌が披露された。

松尾発

寺所地籍に建設中のNHK飯田放送局は完成予定が明年三月だったが本局の方の都合で本年度中に完成されることになり工事は急ピッチで進んでいる。

下久堅発

天竜河畔の高台に建設中の飯田観光ホテルは昼夜けんこうで工事を急いでいたが二十五日竣工式を行い、二十六日より店開をした八畳五部屋、六畳一つ、六〇畳舞台付大広間共同浴場一家族風呂二つが完備された。

風車

▼経済的不況のどん底にあった昭和三十三年も除夜の鐘と共に去り新しい年、希望の年の出発を迎えた。けれど今年に課せられた幾多の問題は、新春のトソのしたづつみの中に秘められ解決への道は遠い。私達はこの山積する問題の解決に大きく目をひらくと共に一層の努力と新しい決意を固め、昭和三十四年の第一歩を踏み出さなければならない。

▼こうした意味において私達は私達の手によって前進する以外にない。自治体が大きくなり政治にタッチする機会も少なくなり、わからなくなる。ともすると放り出してしまう危険が生じて来るが、何と云ってもこれを防ぎ立ち上って行くのは各種団体であろう。

青年、壮年、婦人、公民館、その他サークル等に、住民の大多数が加っており、一つ一つの組織として力を持ち、互に引きつ引かれつしているからだ。一人ではどうにもならない問題を団体の力によって上向きの活動へ拍車をかけなければならない。

▼各種団体はこの年末から年始にかけ役員が改選され、新しい事業計画が立てられる。そうして計画の中には昭和三十四年の新しさが当然おりこまれて来るであろうがとかく事業がマンネリズムになりむずかしいことには「アタラズ、サワラズ」になる。

こゝらで生活の中からにじみ出る問題にそれぞれの団体が手を付けるべきであろう。そうして文化村竜丘の孤島を制破すべきだ。

◆二月の公民館映画は二十日から二十三日まで「私のおかあさん」

ヤクルト
御用命は
時又 鈴木新聞店へ
責任者 鈴木良子
有線 4－11

青年会、婚儀改善へスタート

会場は支所二階で

三三九度やめて　二人が誓い合う

祝賀会は会費制

年の瀬も押し迫った暮の二十一日市役所支所に於て一五〇人余の人達から祝福されて、塩沢義男君と寺沢岩恵さんが結婚した。

これは、青年会員で有る塩沢君の結婚を今までの因習を破って、新しい人生の門出にふさわしい結婚式にして、私達の手で大いに祝福してやろうと云うことで、青年会が中心となって、青年会結婚式として改善結婚式が行われたもの。

結婚式の改善については、すでに久しい間にわたってその必要が叫ばれ、時々に研究されて来たけれど、実際に当っては、旧来の習慣の根強さから抜け切れないことなどによって、その徹底がなかなかむずかしい状態にあり、近年益々はでになって来ている時に、青年会が率先してここに結婚改善に取組んで式を挙行する事が出来たことは新生活運動推進が強く叫ばれている時に運動を拡大していくべき、きっかけをなすものとして、各方面から注視されている。

この結婚式の新しい考え方の基をなすものは、新しい人生への門出の二人をおゝいに祝福してやると云う考え方で、青年会、同年生親戚からなる実行委員会が組織され、この会にてすべてのものが計画されて来た、そのおもなものは参加者は会費制にして当日二五〇円受付にて払うことにし、これにて式、祝賀会の一切の費用がまかなわれた。式は結婚行進曲につれ入場から始まって、今までの盃事は、はいして、その場での婚姻届の署名など婚姻成立の表示がなされ、花束贈呈、各面からの祝辞、そして全員による、しあわせの歌の合唱によって式を終り、続いて祝賀会が行われた。新しい考え方に基づいて行われたこの結婚式は結婚の意義を充分に考えた上でのもので厳粛にしてしかも簡素な中にもほんとうに盛大なものであった。

尚其の后二十八日に反省会が開かれ、これからいかにこれを足がかりとしてこの運動を広く地域の中に推進したならよいかが話し合われた。まず推進してゆく母体をしっかり持つ事が大切となり、地域の上に立っての運動としてゆくには公民館が中心となる事が最も大切であるとし、青年団、婦人会など組織を通じて充分学習と推進力を持つことなどが出て、近々に公民館を中心にしての話し合いが持たれることになっている。

尚この結婚式に参加された感想とこれからのことについて

誰もが出来る体制に

社会的な革新は個人の自覚と、それをとりまくサークルの協力とによってなされる。塩沢君の決意とそれをとりまく青年団の敢行に敬意を表する。道はひらけたのだ。こうした結婚式をしたい希望を持っている人は、誰でも容易に出来る受入態制をつくらねばならない公民館が中心となって、青年会、婦人会から委員が出て、受入れの具体案を至急つくってほしい。

（木下右治）

皆が利用出来る設備を

何事にもすべて生れ出る悩みというものはつきものと思います。だからこの結婚式についても色々な批判のあるのは当然なことで障害や批判があってこそ次の発展はあるものだと信じます。

現在の世状から和洋の嫁入仕度はどうしても用意せねばならないので、せめて披露宴だけでも簡素化するのは急務と思いますから、会費制度は大賛成ですが主体を何処に置くかと云うことが大きな問題であろうと思います。

役場なり農協なり、又公民館なりに或る程度の設備を持って村民はみなそれを利用するという事になったら理想的ですが、そしてそうなる様にみんなで話しあいが出来れば大変に結構ですが、そういう設備の出来るまでは例えば、婦人会館の様な一回の使用料千円位で済む様な場所を選んで当座のうちは人生の門出の挙式はあくまで厳粛に行うのが良いと思います。

（代田きそ）

基礎的な学習を

私達が昨年十月婚儀改善の先進地である塩田町へ研修旅行に行って実際の結婚式をみたり話しを聞いたりする中で自分達もやれるんだという自信を深めたことが私達に良い刺戟になったように思います。然し溝劇の活動をつづける中であったので学習活動が出来すみんなの活動にならなかったけれどやってみて自分達にも出来るんだという自信と組織の重要性が判って来ました。今回の場合で終る事なく二回三回とつゞくように竜丘地区のみんなの問題として理解と認識を深めると共に公民館が主体になってこれからの事を考えて行って頂きたい、私達青年としても一生に一度は当面しなくてはならない問題で青年会の中で学習活動として認識を深めたり自分達が当面した場合の基礎をきづくための勉強が必要だと思う。

（下平衛）

【写真説明】
婚姻が成立し、友人代表より花束の贈呈をうける新郎新婦

多い体温測定法

睦会研究発表開かる

睦会の研究発表会が昨年十二月五日竜丘支所二階に於て盛大に開かれた。師走とは云っても会場一ぱいに集った会員でうまり、各支部代表の八人がそれゞ〜研究の成果を発表した。

最初代田会長が挨拶し、発足以来会員と指導員とが一体となって研究し、努力され、数多くの成果を作ったから、本年からはみっちり正月でも終えたら三〜四回ルールの研究でもして四月頃から毎月一回位は練習をしたいと思っているまた対外試合を望んでいるから、どしどし申込を歓迎している想だ。

みており、計画生産がいかにお互の幸福のためになるかを思う時、睦会の存在が大切かを痛感すると強調し、体験発表に移った。

⊙会員による発表の要旨は、

グループの動きは先ず家族の理解を得る事。会員の要望に答えて求める事に目標をおく。会員の前進出来るグループにする事。会員のいかなる相談にも話し相手になれるような興味のある集にする事等である。

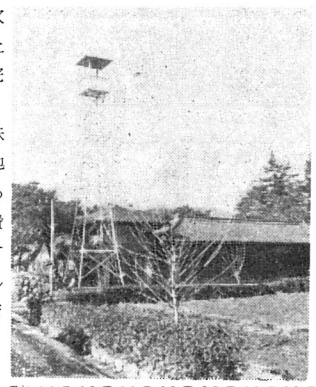
⊙ケースの発表として

最も新らしい基礎体温の測定方法が一番多くとり入れられている事が発表により明らかで、会員の多くが真剣に勉強と研究されている事に驚きと、同時にたのもしさを感じさせられます。むづかしいと思われていた体温測定方法もこれ程迄に各人が体得されゝば、今までの不安から解放されて、毎日の生活に自信をもつ事が出来、家族計画の根本的な問題が解決されると思います。今後も一層の研究に良い成果が生れる事を信じます。一人でも多くこの種の方法を取り入れる事が安定した生活の基礎となりましょう。其の他食生活の改善の必要な問題、組織的な集の必要性、等各種の発表があり、睦会の内容の深さを痛感させられます今後の発展と内容の充実に一層の研究と努力を期待致し、微力乍お手伝をおしみません。

（北原保険婦）

上川路　鉄製警鐘楼が完成

駄科、桐林、時又に次いで昨年末16日に上川路地区に鉄製化が完成した。高さ16米、16万の工費で今村鉄工が請負ったもの。地元負担金は35％であるが、今回から消防費は竜丘財産区が負担することになった。但し貯水地は受益者負担である。



グループ

＝時又球友クラブ＝

球を親しみ四勝一敗

スポーツとゆうものは、人を頼まなくては出来ない、頭を下げて頼むとゆう事は、その当事者になると並たいていのことではない。一つで良いから人を頼まなに試合に参加出来ないものかと或る会合の時に話しが出たのが動機となり、また公民館運動の一環としてもグループの育成が叫ばれているのだからとスポーツに関心の有る七人の人達が集まってとにかく野球クラブを作りましょうと云う事になり、四月に第一回の会合をもち、方針を決め同好者を求め昨年五月「時又球友クラブ」が発足した。

クラブの構成は、会長一名、副二名。会計二名、顧問二名（商工会一名、公民館一名）監査一名、助監査一名、クラブ員二十五名で時又に在住している者に限られている。経費面では、人会金百円と毎月五十円の負担金またクラブ活動の成績を収めたのもチームワークがとれていたことと、部落の人達の協力があったからと、クラブ員の一人は云っていた。

今後のクラブの方針を聞いてみると、チームを強力にすると共にバッターをきかす事が第一の宿題である。昨年はクラブと云う土台を作ったから、本年からはみっちり正月でも終えたら三〜四回ルールの研究でもして四月頃から毎月一回位は練習をしたいと思っているまた対外試合を望んでいるから、どしどし申込を歓迎している想だ。

育成とゆうことで公民館から年間三千円、商工野球に全面的に協力するため、商工会より年間五千円の助成金で会の運営に当っている。ただし学生は毎月の五十円は免除している。年令は最高四十四才から十七才が最低で平均年令は三十才位で、今少し若年の人達の加入を望んでいる様子である。

クラブ員の懸案であったユニホームも商工会と一般の援助によって十月に十五着を作成し、第一回の対外試合として飯田市商工連合野球大会に出場して、伊賀良、松尾下久堅、を破り優勝。十一月には飯田市公民館野球大会に竜丘地区の代表として出場して二戦で敗れた。発足以来の試合成績は五戦で四勝一敗、発足早々試合数は少ないけれどもこれだけの成績を収めたのもチームワークがとれていたことと、部落の人達の協力があったからと、クラブ員の一人は云っていた。

今後のクラブの方針を聞いてみると、チームを強力にすると共にバッターをきかす事が第一の宿題である。昨年はクラブと云う土台を

（写真は優勝を手にした時又球友クラブ）

あの人＝この人

永遠に幸あれ

（東海林選蔵山形県東枝山村へ
下平　清子　駄科より
沢柳　浅春　竜江村へ
塩沢はまえ　桐林より
榊山　繁幸　千代村へ
塩沢としゑ　桐林より
清水富太郎　市川市へ
沖田ふさゑ　時又より
亀田　昭次　川崎市へ
下平　弘子　駄科より
若杉　保章　甲府市へ
下平　悦子　駄科より

（井原　正人　上郷村へ
下平千代子　駄科より
（下平　幸　松尾へ
小室　房子　駄科より
（塚平　正　上川路へ
秋原　嶺子　泰阜村より
（井上　岩光　時又へ
斉藤マツヱ　新潟県北蒲原郡より
（小野寺雄助　宮崎県柴田郡へ
小室サチ子　上川路より

（東海林　竜江村へ
下平　勝美　桐林より
（綿貫　岩男　佐久間町へ
前島　清子　桐林より
（長津　定次　福岡県福岡村へ
牧内　恒子　駄科より
（小原　好夫　駒ケ根市へ
久保田多恵　駄科より
牧内　鋭夫　時又へ
東海林圭子　山形市より

伸びよ健やかに

氏名	父名	性	部落名
杉本　宗生	金吾	男	上川路
仲田　吉彦	幸	男	駄科
今村　明	昭三	男	長野原
小木曽　茂	弘司	男	駄科
中島　幸雄	寿文	男	桐林
木下　雅明	清巳	男	駄科
木下　千鶴	純夫	女	駄科
関島　俊文	永年	男	駄科

御冥福を祈る

氏名	年令	性	部落名
伊原　英一	七九才	男	時又
前沢　四郎	四四才	男	長野原
下平きよふ	七九才	女	桐林
牧内　かね	八〇才	女	駄科
森　礼一	三五才	男	上川路
久保田久助	六九才	男	駄科

編集后記

▼新らしき年の始めにあたり地区の皆様の御多幸を紙上よりお祈りします。本年も何卒館報を御愛読、御鞭撻下さい。▼本年度の整理部員は塚平清俊、下平恵敏原佳明、下平政賢、原寛、塩沢義男、久保田節子、熊谷京子です。▼御投稿を歓迎します。

ごめんなんしょ

今年は選挙の年と云われる位に参議院議員選挙から地方議員選挙までいくつもある。

十五日の成人の日、新有権者は絶対の〝かも〟とあって、参議選と地方選の候補予定者の事前運動は活発をきわめたとか、反面こうした攻勢に対して〝正しい選挙権の行使〟をと選管では防戦に努めていたなど、あれこれと報道されていた。さて当竜丘地区も十五日の成人の日五十四名の成人者が出席して盛大に成人式が開かれたが毎年成人になれた人達に送る記念講演が開かれているが、今年はこの記念講話の講師は、何と加藤飯田警察署長殿、なかなかおもしろい御話しをひとくさり、その中で職掌柄、警職法は絶対に改正しなくてはと息まいていたがさてこれら、いならぶ成人者諸君は、どう感じたものか。

随想リレー

亥年の元旦号の隨想リレーのバトンが偶然にも亥年生まれの俺のところへ来た。皮肉なことだ。猪は何か縁起のよい動物か今の一万円より価値のある頃の昔の十円札に印刷されていたそうだ。その頭を下げて突進する獰猛な態を見ると何か現代青年のドライな行動が連想される。とりわけ俺自身にピッタリ当てはまるような気がする。そこで俺は亥年の元旦にちなんで亥年生まれの俺の猪的言動の系譜を綴ってみようと思う。

俺は昭和十年生れで恰度大東亜戦争の始まった十六年に一億一心のファシズム体制による学制改革により小学校から変名された国民学校に入学。戦の中で育られた教育を受け、やがて敗戦となり、廿二年、六・三制の新学制が布かれた年に新制中学一年生となった。いわゆる学制改革の子だ。敗戦と同時に教科書の戦争を称える頁に墨を塗ったりちぎり捨てたりして徹底的な戦争憎悪教育を受けた。戦争中何かのはずみで「そんなことで立派な軍人になれるか」と、全員ビンタを喰った同じ先生から敗戦後は「皆さんは生れ乍らにして自由であり平等です」と人権強調の教育をされるという一寸割切れない授業を受けたが、戦争憎悪の魂は強く植えつけられた。中学校へ入ると民主化教育が益々強化され、少年の頃の無垢な皮膚を民主々義の思想の柔かな肌ざわりで愛撫され、そして清純な魂は民主々義の光を浴び未熟なまでも、俺の基調となっている。高校で反復し益々根ざして強固なものになったような気がする。卒業して農業に就事してみると、学校と現実との差異に仰天し、逃避せざるを得なかった。経営改善の要求とか労働配分の問題とか種々オヤジと話し合ってみたが、古いのとスケールの小さいので全てを却下されてしまい、只幻滅と諦めの中で農業生産に耐えたが、遂に三十年に破裂して、家出という暴挙的手段をとった。しいたげられた青春像がその苦脳から救われようと文学へ逃避して孤独な煩悶とか焦燥から頽廃主義へ無意識のうちに陥落してしまい生産的意慾を失ったのが原因だ。戦争によって抑えられていた文学が敗戦という歴史的な激変により堰が切れた怒涛の様な戦後派文学の風潮は、俺の人生的経路と巧くマッチし、陶酔していた文学的経験を自分の人生に当嵌めて実践し、人間の実存の意義を追求した都会での生活も、重ねて押し寄せて来た家の不幸で意地にも帰り度くなかった家へ、頽廃と虚無が高じて自虐的行動実践に身を沈め、破滅寸前という処で帰って来た。家へ帰った当時は、都会生活の疲労困憊から救われて何かホッとした安堵があったが、二年三年と反単調な農村生活を自己批判から遁世的に、青年会にも入会せずに、孤独の中で文学を伴侶とし乍ら続けていると、時々、生来の我侭から本当に耐えられない様な大きな空洞が生ずる事もある。もう過去の失敗もあるので向う見ずな自暴自棄な行動もとれないが、何か支えを求めて途方にくれて失う。心の中のジメジメした陰鬱な面ばかり書いたが俺は外面的にはこの暗さを紛らわす反作用か、竹を割る様に パリッ としたはっきりした性格だ。現実に対する矛盾の中で綴らイライラしてみても埒は開かん。俺の頭の芯にはいつも民主々義理念が在る。俺がどんな行動をとろうが、自己の行動に対しては確固たる信念がある。人が何と言おうと正当化すべき裏付けをもっていると豪語する程になり度い

自分に被さってくる家庭的な、社会的なオホイを突破すべく猪的突進を今年こそ試みようと思う。「猪の如くあれ」これが俺の今年のモットーだ。

次回のバトンは上川路の牧内清志さんへ

猪突猛進

駄科　下平道啓

×××××××××××